

3L通信

ルクス・ムンディ
～世の光～

vol.6

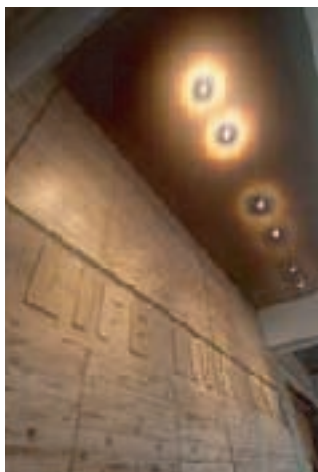
2008 1

Life
Light
Love

特集

TGインタビュー

イオンモール(株)社長 村上教行氏に聞く



学校標語の3L精神

Lux Mundi



15万人が繋ぐ、
TG
コミュニケーショ
ンの輪

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

昨年の秋に
第八回東北学院大学
ホームカミングデーを
開催しました。
会場には当時を懐かしむ
同窓生がたくさん集いました。

表題 ～ Lux Mundi (世の光) ～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

C O N T E N T S

- P 01** ホームカミングデー(第8回同窓祭) 報告
- P 02** 特集 TGインタビュー…イオンモール(株)代表取締役社長 村上教行氏に聞く
- P 08** 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～
- P 10** 懐かしい風 新しい出会い ～同窓生のお店を訪ねて～
- P 12** 3Lセミナー「次世代GPSシステムに関する研究」…工学部教授 塩川 孝泰
- P 13** 健康と医療「『美人』も口元から」…高橋歯科矯正クリニック院長 高橋 征
- P 14** クローズアップ「まちづくりの歯車」…アーバンスコップ倶楽部 代表 鈴木 南枝
- P 15** TGギャラリー
- P 16** 特別寄稿「東北の海を守る」…第二管区海上保安本部 警備教難部長 時枝 俊次郎
- P 18** 東北学院大学文化講演会2007開催報告／CAMPUS NEWS
- P 19** 東京支部設立100周年記念祝賀会案内
- P 20** この人この顔
- P 21** 北から南から Around Japan
- 巻末 INFORMATION、他



鐘楼(カリヨン): 学校生活の時間を知らせる

ホームカミングデーを 開催しました

皆、学生時代の懐かしい思い出や
互いの近況を語り合い
新しい出会いに
母校の絆の強さをあらためて
感じているようでした。
ホームカミングデーは、今年の秋も開催します。
皆様お誘い合わせの上ご参加ください。



TGインタビュー

イオンモール(株)代表取締役社長 村上 教行

50歳

昭和49年経済学部商学科卒

まず、お客さまのための自分であること。
「地の塩」「世の光」の持つ意味を
今、深く感じています。

イオンモール(株)は、昨年八月二十一日に(株)ダイヤモンドシティと合併し、村上さんは引き続き社長に就任されていますが、はじめに社長に就任された時の感想と今後の抱負をお聞かせ下さい。

村上 私は一九七四年に入社し、ほとんど実務部門を担当してきました。将来的にも、どんなリーダーになってもプレイングマネージャーでいたいとの気持ちを持って働いてきました。これまで衣料品や食料品の仕入れ責任者やマーケティングの責任者を務めてきま

したが、その後イオン(株)からイオンモール(株)に転籍ということで移ってきました。その時はもちろん社長ではなく営業の責任者という立場でした。その後、私の前任者が急きょダイエーに行くことになり、それを受けて私が社長になった訳です。その時に、新人の社長でありながらイオンモールを今後どのように展開していくか、(株)ダイヤモンドシティとの合併をどのように進めるか、という二つの大きな課題を持たされました。

ですから、最初に社長になった時は

2007年4月4日、小売最大手イオングループのSC（ショッピングセンター）専門ディベロッパーであるイオンモール株式会社の代表取締役社長に村上教行氏が就任した。同社は2007年8月21日に株式会社ダイヤモンドシティと合併。村上氏は引き続き“新生”イオンモールの代表取締役社長として重責を担う。東証第一部上場会社の社長である村上氏にビジネスマンとしての基本理念や社長としての経営ビジョンを伺った。

(インタビュー・構成は小原武久校友課長補佐)

自分の責任の重さを強く感じました。イオンモールは『お客さま第一』を基本理念としています。新生「イオンモール」においては、さらに「輝きのあるまちづくり」を目指すことを経営理念に据え、RSC（リージョンナルショッピングセンター／広域商圏に対応したショッピングセンター）ビジネスモデルを超えた、他に類を見ない商業施設づくりを推進し、イオングループ及びSC業界における強いリーダーシップと責任が求められています。

合併の狙いは、企業を二倍に大きくすることではなく、成長させる事業領域を見極めることにありました。今後は世界に向けて新しいステージを練り上げていく、これが社長としての使命だと考えております。

世界に向けて今後ステージを繰り上げていくということですが、具体的にどのような構想をお持ちですか。

村上 これからの十年間でイオンモールは中国や東南アジアを中心にSCを約五〇カ所に出店し、SC賃貸面積を現在の世界二十二位から世界五位入りを目指そうとするものです。合併して業務効率や店舗開発力が強化されたので、今後は中国を中心に成長性の高いアジアへの出店を加速したいと考えています。そして、ゆくゆくは世界全体で1日当たりの来客数が500万人を超える規模の商業施設面積を有す

るSC経営をしたいと思っています。

スケールが違いますね。

村上 上場企業として目標の数字を挙げたら、それを達成することが社長としての一番の責任と考えています。会社にはトップがいて部下がいて、またその下にも現場で働く人がいます。会社の目標を数字できちんと掲げれば、自分たちの仕事の目標も明確になってくるはずですよ。

ただ今お話しにも出ましたが、東証第一部上場会社の社長に就任されている同窓生は、そう多くないと思います。そこで、村上さんの経営に対する考えをお聞かせ下さい。

村上 私は小売りサービス業しか知りませんので、当然、会社の考え方と一緒になっています。当社の基本理念は、『お客さま第一』です。いつも言っていることですが、「お客さま対策に勝る競合店対策はない」と思っています。これは何故かと言いますと、サービス業は企画力に左右される業種でありまして、新聞や雑誌などでダイエーがいい、ヨーカ堂がいい、ジャスコがいい、などと常に比較されます。このように比較され易い業種だからこそ、競合店に勝つためには、いかにお客さまの声に応えるかが重要な戦略となります。地域の行事であるとか、巷では何が流

行って何が売れているか、お客さまは何を求めているか、などをきちんと精査して、常にリーダーシップを発揮していかなければ駄目だと思っています。やはり、サービス業の中心は『お客さま第一』ですから、「お客さま対策に勝る競合店対策はない」が私の基本的な考えです。

今やすっかりIT時代になってしまいました。会社としてFace to Faceとでも言いましょうか、人間と人間との関係を太くして、心のコミュニケーションが取れて、より風通しが良い関連な会社にしていきたいと思っています。

ところで、村上さんの経営理念の土台になっ

村上 今振り返ると、私のビジネスマ

ン時代は、時代の変革期でありました。さらに、ITが発達してきて、いろいろな物事の変わり目であったのです。自分たち若い者にとっては、経験的側面より、新しい思考で色々な物事を考えることが大変重要な時期だったと思います。つまり、それまでの経験が重要視され「人事を尽くして天命を待つ」ことから、「天命に従って人事を尽くす」ことが重要になってきました。

どれだけやっても足りないと言われるのが今の時代です。それは量の問題なのか質の問題なのか、その時代によって違うと思います。だから私は、人事を尽くして天命を待つ時代は終わった、とよく

言います。いわゆる天命がどんどん変わると、これまでの経験が活かされなくなるかもしれない。そのように時代が変わった時に、素直に受け入れて、また新たな気持ちで一つずつ手を打っていくことが必要となります。天命に従って、その中で一生懸命頑張っていくことが非常に大事だと思いますね。

「イオン」とはラテン語で「永遠」を意味するのですが、村上さんにとって長年大事にしていることは何ですか。

村上 そうですね。偉そうなことを言う訳ではありませんが、イオンという会社に入社して色々の影響を受けました。また、学生時代に落語研究会に入っていて、人を喜ばせるとか、人に喜んでいただくということを経験したことも大きく関係していると思っています。だから、余談ではありますが、息子にはどこの学校に入るかよりも、少しでもいいから人のために役立つことが大切だと言いつけています。

私がイオンに入社した頃は、非常に会社が若くて、ダイエーさんとかヨカ堂さんとかは雲の上の存在でした。そういう意味では、何でもやらせてくれたという部分があって、非常にやり易かった。その一つとして、阪神・淡路大震災時に、私は靴商品部長をしておりましたので、リュックサックを背負って直ぐ神戸に飛びました。本来なら、商品を仕入れる際、仕入代金は請

求書をいただいていたから、お支払いするのが当たり前ですが、震災で靴屋は請求書を発行できない状態ではありませんでした。私は業者の皆さんが大変な状況にあることを目で見て実感しておりましたので、役員会にかけ、納品書だけでお支払いをさせていただいたことがあります。

人に喜んでいただくとか、本当に困っている人を救ってあげたいという発想は、長い間培われてきたイオンの哲学の中で育て上げられたところがあります。しかし、その起源といえば、やはり落語研究会で屑屋小払い（くずやおはらい）の芸名で活動し、人に喜んでいただくことの素晴らしさを学んだ学生時代でしょうね。また、学生時代は大学の近くの魚屋さんに下宿していた、そのお父さんとお母さんから本當の息子のように育ててもらいました。ですから、大学を卒業してからも、お世話になった人に対して感謝の心を持つように心掛け、できるだけ奉仕して人に喜ばれるように努めています。ただ、この奉仕とは、見返りを求めない奉仕ということです。そういう意味では、イオンという会社の『お客さま第一』の理念と深く繋がっていると思いますね。

本学を卒業と同時にジャスコ（現イオン）に入社されておりますが、ジャスコに入社された動機をお聞かせ下さい。

村上 ジャスコはまだ会社組織は大きくないが、これから伸びる会社だったということが一つですね。会社を選ぶ時には、大きいところは最初から考えていませんでした。この会社が今後伸びていった時に、自分も何か参加できればいいなと思っていました。

それから二点目は、ジャスコを受ける時にインターナショナル社員を目指していたことも事実です。ただ、今になって思うと、英語が不得意だったのでインターナショナル社員は実現しませんでした。もうちょっと英語を勉強しておけば良かったと悔やんだこともありましたね。

私はこれまでの人生の中で、どちらかと言うと、自分が楽に身を置くこと



よりも、ちょっとしんどいけど面白いんじゃないかな、という観点で物事を選んできました。当時ジャスコはまだ小さな会社でしたが、こういう小売業界でお客さまの前に立つということが好きだったんですね。

これから伸びる会社は、それだけ自分にもチャンスがあると思っただ訳ですね。

村上 はい、もちろんです。私の同期入社は二十二人位いたと思いますが、東北学院大学の他に早稲田大学や同志社大学、それに京都産業大学などの卒業生がいましたね。その中で一番多く入社したのは東北学院大学と早稲田大学でしたが、何となくやっつけていける自信みたいなものがありました。成長過程にある会社でしたので、若い社員であってもチャンスはあると思っています。

お話しのように、最初は平社員であった村上さんが、今では日本を代表する会社の社長に上り詰めて来られました。この要因は何だと思えますか。

村上 私は社長になりたいと手を挙げた訳ではありませんので分かりません

が、現場を知っていることが一番大きかったと思います。実務部門という現場で長く働き、辛いことも楽しいこともありましたが、現場を知ることが小売業の原点ですからね。我々の業界用語で「何か悩んだ時に答えは現場にある」と言います。それは、自分を現場に置くということだけではなくて、現場を直視し、現場での物事を分析し問題を把握し解決する、これが大事なのです。現場を直視できない人も多いのですが、幸い私は東北人特有の気質というか、辛い仕事からは逃げませんでした。今、収賄やら偽装やらと世間を騒がす方々が新聞やテレビに出るたびに宮城県出身だということ嫌な思いがして、最近は宮城県出身だとちょっと言い辛くなりましたが、私は自分のやったことに対しては逃げずに全部責任を取ってきました。それを社内の方が見ていて、私を社長に指名して下さいと理解しています。

三十三年間イオンひと筋に歩んで来て、ビジネスマンとして一番大事な基本理念は何だと思えますか。

村上 それは、やはり常に責任ある行動を取ることですね。最高学府を出てビジネスマンになったからには、自分の行動を常に理論的で体系的に説明できなければいけません。自分は何でこういう行動をしているのか、その理由をきちんと意識しながら確実に行

動することが責任ある行動に繋がると思えますし、ビジネスマンの基本だと思っています。

また、私は私利私欲みたいなものを偶然持ち得ておりませんでしたので、誰かを押しつけて自分だけいい思いをしようと思ったことなど一度もありません。イオンモールの「すべてはお客さまのために行動し、お客さまから愛されるモールづくりを目指す」という経営ビジョンが私の根底にあります。ビジネスマンとしての目標をしっかり持って、そしてモラルをわきまえて、具体的な行動を示していくことが大切じゃないかと思っています。

これまでのビジネスマン生活の中で、特に印象に残っていることは何ですか。

村上 自分自身で即座に判断しなければならぬということが必ずあると思います。前にも述べましたが、一九九五年の阪神・淡路大震災が一番印象的でした。それより以前に岩手県北上市の江釣子店の店長をしていて、その時の現場との交流が後々役立つことになりました。

阪神・淡路大震災が起きた時、私は東京本社で衣料商品本部靴商品部長をしていました。神戸には取引先のメーカーさんが沢山いまして、ご承知のように震災で街全体が崩壊し仕事どころではなくなりました。それで、私は靴の納





品よりも皆さんの復興が第一だと取引先に言いました。当時、何でそんなことが自分の判断で言えたのだろうと思います。江釣子店の時から現場との交流を図ってきたことが大きいですね。この交流がいつの間にか信頼関係に成長している。そして、「この現場主義の原点は「現場の課題が見れば直ぐ分かる」ことであり、それはトップとして不可欠な要素であると思います。そのような意味で、これまでの現場での経験が私を支えていると言っても過言ではないと思います。ビジネスの基本というか、人間として本来あるべき姿を垣間見えたような気がいたします。

ビジネスチャンスを広げるために何をどのようにすべきか、特に入社してまだ年月が浅い二十代と中堅ごろの三十代の後輩を中心にアドバイスをお願いします。

村上 先ず、今のこういうIT時代だからこそ汗をかくことが大事だと思います。

ます。インターネットを利用して情報を収集するのも良いとは思いますが、とにかく自分で体を動かして汗をかかなくてはいけません。若いのでから頭で覚えると同時に体でも覚えていく。また、少々のは自分の足でお得意さまとかお客さまを回る。これが大事ですね。便利さを求めてすぐ電話で用件を済ませたり、メールを送ったりしている人も多いと思いますが、TPOを考えて行動してほしいと思います。

会社のルールと社会のルールを早く覚えるのも必要ですね。このルールをもとに汗をかくことが大事なのです。そうすれば、必然と人との接点が多くなります。これがビジネスチャンスに繋がるのです。先ほどお話ししたFace to Faceと同様、社内の先輩や同僚はもちろん、お得意さまやお客さまとの関係を太くし、信頼関係で結ばれたコミュニケーションを築くことです。これはビジネスチャンスだけでなく、ビジネスマンとして必須の条件かもしれません。とにかく汗をかくことです。

二つ目は恥をかくことです。私は、人間が成長する過程でどれだけ恥をかいて、どれだけ人に笑われたかが大変重要だと思っています。「惨めさが男をつくる」なんて言い方をする人もいますが、自分が挫折感を味わい、惨めになった時にどのように行動するかが重要なのです。これをバネにしてやろうと思うのか、それともとことん痛めつけられるか大きなターニング

ポイントになります。年を取って地位が高くなるほど、恥をかかされたらダメージが大きくなりますが、若いうちに恥をかくことで、謙虚さを備えるようになります。ビジネスマンとしても人間としても、この謙虚さが大事なものは言うまでもありません。もちろん、恥をかいても、心の中では「今に見ていろよ」という反発心を掻き立てることも大事です。

三つ目は、人から言われたことをメモすることが、やはりビジネスマンとしては必要です。大事なことは必ずメモを取っておく。それは謙虚になって人の話しを聞くことに繋がります。メモを取ることを習慣として身につければ、ビジネスマンとして大きな武器になります。

このように、汗をかいたり、恥をかいたり、謙虚になって人の話しを聞くことをしないと、新しいものが提案できない、あるいはマーケティングの領域を超えて独自性のものがなかなか出せないというジレンマに必ず陥ります。だからこそ私は「自分がどう偉くなるかを考える前に、先ず汗をかけ、それから恥をかけ、そして教わった事柄は必ずメモを取れ」と新入社員に言い続けています。

しかし、これらの三つとも最近希望も薄くなってきたと感じます。職業を選ぶ時も楽な方を選びたい、また職業を選ぶ時は恥ずかしいのは嫌だ、人前に立つのは嫌だ、などと言う人が多くな

りました。若いうちに自分の土壌をしっかりと固めておけば、後で多少のことがあったてもへこたれませんか。まだ若いうちなら、抵抗なく自分の幅を広げられるでしょうから、大いにチャレンジして欲しいと思います。

東北学院大学を卒業して良かったと思えますか。

村上 前の質問に関連して言えば、大卒に入る前までは自分の成績が良い方だと思っていました。小学校や中学校時代は特に良く、高校時代もまあまあだと自負していました。ところが、東北学院大学に入学して最初の前期試験が終わって、落研の先輩から「お前、ばかだな」と言われたのです。成績表を皆で見せ合っている時でしたが、生まれて初めて馬鹿呼ばわりされました。ショックというか、上には上がいるのだと己の力を知った瞬間でした。恥をかくということはこういうことだと思いますね。

東北学院の同窓生の中には、自分が卒業した母校をあえて明かさない人もいるかもしれませんが、私は母校の名を隠して仕事をしたことは一度もありません。今はイオンモール(株)の社長として、ほとんど毎日のように経済界や業界の方と沢山会っており、むしろ積極的に東北学院大学の名前を公表しています。それは、東北学院大学を卒業したから今の自分があると思えますし、

東北学院の同窓生として非常に誇りに思っているからです。イオンモールに学園はありませんが、より著名な大学を卒業してきた人とも上手くやってこられましたので、特に後輩には、自信と誇りを持って積極的に東北学院大学の卒業生であることを公言することを勧めたいですね。

最近では新聞や雑誌などの取材が多いものですから、プロフィールに必ず東北学院大学卒業と入れていただくようお願いしています。また、東北学院大学経済学部佐藤謙三ゼミとか、第七代落語研究会会長まで入れてもらうこともありますよ。

最後に、同窓生にメッセージをお願いします。

村上 やはり、皆が東北学院大学の卒業生だとはつきり言ったらいいのでは

ないかと思えます。それで東北学院大学に入った人たちが、それぞれの歴史をつくり、校風をつくっていくと思います。出来れば自ら進んで汗をかいて、自ら進んで恥をかいて、自ら進んで積極的に人の話しを聞いていくような人になってほしいと思います。

イオンモールは、商業を通じて地域社会に奉仕する会社です。それぞれの地域社会から当社のS.C.が誘致されるために、私を含めて全従業員がお客さまの暮らしに役立ちたいとの共通認識を持っています。とはいえ、私自身は、完成された芸術作品のような男ではありませんので、常に現場に目をおき、お客さまの視点で、そして部下の痛みも分かかって物事を判断してきましたつもりです。社会人となった今、東北学院で学んだ「地の塩」「世の光」がようやく分かってきたように思います。



profile

村上 教行(むらかみ のりゆき)

1974年3月 東北学院大学経済学部商学科卒。

1974年3月 ジャスコ(現、イオン)株式会社入社、2000年5月 イオン(株)取締役GM商品本部長、2002年2月 イオン(株)取締役SSM商品本部長、2003年5月 イオン(株)常務執行役、2004年2月 イオン(株)常務執行役営業企画担当、2006年5月 イオンモール(株)専務取締役SC営業担当、2007年3月 イオンモール(株)代表取締役専務、2007年4月 イオンモール(株)代表取締役社長



東京入国管理局横浜支局長

山中
まさのり
政法

昭和50年経済学部経済学科卒

幅広い分野で国際化が進展している今日、世界の国々の人々と日本との結び目の役割を果たしているのが法務省入国管理局。東京入国管理局横浜支局長の山中政法さんは「外国人が我が国を訪れた時に最初に接するの入管職員なので、そういう意味では入管職員は第一線の外交官といえます。我が国と国民の利益や安全を守るといふ出入国管理行政の一翼を担ったかった」と

入省の動機を明かす。

入国管理局が担当する仕事は、全ての人の出入国の公正な管理、外国人の在留管理、外国人の退去強制、難民の認定、外国人登録などであるが、近年では人身取引（トラフィック）対策や国際テロ対策にも重点を置いている。仙台入国管理局で採用され、その後殆ど本省と東京入国管理局に勤務している山中さんは「外国人の入国者は年間約八二〇万人で、

海外に渡航する日本人は一、七〇〇万人を超えています。国際交流の活発化に伴って国際間の人的交流も盛んになっていますので、入管職員は迅速かつ円滑な出入国審査の実現と世界一安全な国・日本を復活させるべく努力しています」と現況を説く。また、三十数年間にわたって出入国管理行政に携わってきた山中さんは、平成元年に九州地方に襲来した二、〇〇〇人を超える偽装難民や平成八年に発生した中国からの集団密航事件、そして二〇〇二年のワールドカップ・サッカー大会への対応が特に印象に残っている。「入管法の改正案が国会に上程される度に忙殺されましたが、充実した毎日でした。それと札幌会場で行われたインゲランドとアルゼンチン戦は、ブリーガンによる暴動の発生が懸念されてしまったので、全国から入国警備官と入国審査官を札幌に派遣して万全の策を講じました」と当時を振り返る。

国際化の時代、積極的に外国人の受け入れを図っていく必要があると話す山中さんは、社会に悪影響を及ぼさないためにも秩序ある受け入れが必要と考えている。国際交流の促進に寄与している山中さんだが、日本にとっても好ましくない外国人の入国と在留は絶対に阻止するとの信念を貫いている。出入国管理行政の果たす役割はますます重要になっているなかで、山中さんは「ルールを守って国際化」のスローガンのもと「変換する国際社会において円滑化と厳格化の相反する要請に対し、バランスよく業務を推進して国民の期待に応えたい」と抱負を語る。まさしく山中さんは、国際化時代を担うエキスパートである。



躍動する

ルールを守って国際化を！
 正しい国際交流を促進し
 国民の期待に応えたい。

同窓生

シリーズ6

日本古来の
伝統塗装工法を守り
後進に伝える現代の名工。

佐々木博司さんは、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者として二〇

行けよ」と職人さんたちの温かい言葉に励まされたという。

〇四年に現代の名工に選ばれた。

装工法である木地(木目)を活かす無色透明塗装工法の第一人者

木さんは、五十三年間塗装一筋の道歩み、昨年の秋の褒章でも

で、スギ、けやき、青森ヒバなどの天然木材の特徴である木の目を活かして塗るのを得意とする。

黄綬褒章を受章されている。「私は根っからの職人ですので、一番

最近では既に塗装されている合板が出回るなかで、佐々木さんはあくまでも現場塗装にこだわる。

の誉れですね」と佐々木さんは受章を喜ぶ。また、宮城県で初めて

「カシユークリヤラッカー」を駆使して、建築当時の色とツヤを生み出すのが私ども建築塗装工の仕事なんです。建築塗装工の技が一番問われるのは家屋などの修復

作業ですが、塗料が乾いてしまうため一気に塗って仕上げます。熟練工のカンとコツが試されます」と話す。新しいものを購入する人が増えるなかで、名工は「良いものを買って長く使ってもらいたい。古くなったものを綺麗に修復するのは職人にとっても腕の試し

甲斐があるし、何よりもお客さんに喜んでいただけると職人冥利につきます」と微笑む。また、佐々木さんは、日本古来の伝統塗装工法の基本となる木への製作や刷毛の使用方法を後進に指導・伝授するなど今も職人の育成に情熱を注いでいる。

現代の名工に選ばれた佐々木さんは「塗装職人の世界で学校に通うのは当時考えられなかった。これからは勉強しておかないと世

「下地の診断が一番難しい」と話す佐々木さんは、目視(経験)が最も重要と指摘する。二〇〇件あれば二〇〇通りの工法で行い、決して同じやり方はできないと実践している。

に対応できないと思います」と夜学に通った動機を語る。職場の環境にも恵まれた佐々木さんは「もう学校だよ。遅れないで

現代の名工 佐々木 博司

昭和34年高校二卒業



昭和34年高校二卒業

Hiroji Sasaki



懐かしい風

元サッカー選手が
心を込めて打つ蕎麦に
今日も食通たちが
舌鼓を打つ。

東京に知る人ぞ知る蕎麦の名店がある。名は「山久」。自由が丘という注目される地区に店を構えながら、これまで雑誌などの取材を受けて来なかった。店主の山田隆志さんは、浦和レッズ前身の三菱重工工業のゴールキーパーという経歴の持ち主。山田さんは“蕎麦は人と人とのつなぎ役”に目覚め、二〇〇一年六月にサラリーマン人生から商売の道に転職した。「蕎麦は打てば打つほど奥が深い。僕なんかまだまだですよ」と謙遜するが、お店は食通の常連客で賑わっている。山田さんは尾花沢（山形県）を中心に幌加内（北海道）や金砂郷（茨城県）のそば粉のみを使用し、“おもてなしの心”を大事に今日も心を込めて蕎麦を打つ。

手打ちそば処 山久

sankyu



手打ちそば処 山久

〒152-0035
東京都目黒区自由が丘一丁目7-3
自由が丘第一マンション1階
☎ 03-5701-1180
営業時間 / 11:30~14:00
18:00~22:00
(そば売れ切れ次第終了)
定休日 / 火曜日



昭和44年経済学部経済学科卒 中高大

店主 山田隆志



新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて…

6

創業九十二年。

目利きの魚屋として

食卓においしさと

安全・安心を届ける。

鮮魚の業務用卸と小売を営む「松や」は、今年で創業九十二年を迎える。新鮮さと安全・安心を心掛けている松やは、二〇〇二年十二月にHACCP（ハセップ：食品の衛生管理システム）の資格を仙台市で最初に取得し、仕入れた魚介類の安全性のほかに、施設設備の保守管理や衛生管理を徹底し、高いレベルの安全性を確保している。四代目の松谷一夫さんは「何と言っても、安心してご購入求めていることが大切です。これからお客さまのニーズに伝えていきたいですね」と話す。鮮魚と一緒に漁師の情熱と心を届ける松やは、感謝の心を持ってお客に接している。松やの目利きが選んだ本物の魚の旨さが、今夜も食卓を飾る。

松や

Matsuya



株式会社 松や

〒980-0021

仙台市青葉区中央四丁目3-1

☎ 022-223-3466

仙台朝市店、アメ横店、141店、セラビ店、
将監店、名取エアリ店など16店舗

営業時間／各店舗により設定

定休日／なし

代表取締役

松谷 一夫

昭和41年文経学部経済学科卒 中・高・大



「次世代GPSシステムに関する研究」

産学連携推進センター共同研究

工学部教授

塩川 孝泰

最近の無線通信サービスの進展は目覚しく、中でも携帯電話、

ITS (Intelligent Transport System) / ETC (Electronic Toll Collection) / GPS (Global Positioning System) などが代表さ

れる移動通信関連分野の進展には目を見張るものがある。例えば、自動車における無線通信においては

サービスの種類も急増し、特にGPSに着目すると、将来的に利用周波数帯域の拡大による測位

精度等の性能向上が計画され、その需要はさらに高まることが予想される。すなわち、現在のGPSサ

ービスでは、L1バンド(周波数帯域 / 1.57542±0.001023GHz)の1周

波数帯のみが割り当てられているため10m程度の測位誤差が存在する。

これに対して将来システムでは、

この現行のL1バンドに、L2バンド(周波数帯域 / 1.2276±0.001023GHz)

とL5バンド(周波数帯域 / 1.2276±0.001023GHz)を加えた

2周波数帯運用(L1 / L2) / 3周波数帯運用(L1 / L2 / L5)

を導入して広帯域に信号処理を行うことで測位誤差を10cm程度に改善する計画(2周波帯運用は

二〇一四年頃から、3周波帯運用は二〇一六年頃から完全運用の予定)が進んでいる。

一方、このサービスに用いられるアンテナに着目すると、薄型構造で、このような複数の周波数帯域に対応するためには、それぞれ給電ポ

イントを有する複数のアンテナが必要となる。また、このサービスに用いられるアンテナはダッシュボード付近への設置が望まれるが、ここにはいくつかのアンテナを設置できる

ほどのスペースの余裕はない。従って、単一アンテナ / 単一給電構造で、複数の周波数帯域に対応可能な小型薄型GPSアンテナの開発が望まれている。

我々の研究室では予てより単一アンテナ / 単一給電で複数の周波数帯域に対応可能な小型薄型マルチバンドアンテナの研究開発を進めてきているが、これらの成果を基に

会社との共同研究や、二〇〇四年度から二〇〇六年度に実施したイ

ンテリジェント・ユースモス機構の知的クラスタ創成事業プロジェクト「イ

ンテリジェントマルチバンドアンテナ」で、前述の次世代GPS、GPS and VICS (Vehicle Information and Communication System) 用な

どの新しいタイプの単一アンテナ / 単一給電小型薄型アンテナを世界に先駆けて開発した。一例として図

に示すアンテナは、次世代GPS (L1, L2) の2周波数帯に対応可能) 用アンテナとして開発した、スリット装荷反射板付2周波対応円偏波スロットの試作アンテナである。

現在、我々の研究室では、各種タイプの小型薄型マルチバンドアンテナの研究、帯(14 / 12 GHz)を用いる移動衛星通信用アレイアン

テナの研究、ユビキタス通信用アンテナの研究や高比誘電体材料を用いてアンテナの小型化に関連する

研究などを鋭意進めている。



試作した2周波対応GPSアンテナ

本学院は永年積み重ねてきた知的財産で地域社会に貢献していきます。

『美人』も口元から

高橋歯科矯正クリニック院長

高橋 征

昭和38年櫛ヶ岡高等学校卒業

「出っ歯」「受け口」「八重歯」等の歯並びの良くない歯に弱い力を加えて、できるだけ正常な位置に歯を移動するのが矯正治療です。治療により良く噛めるようになり、発音の改善も見られます。また、顎関節症や虫歯、歯槽膿漏の予防、機能的、生理的な様々な症状に精神的な改善等が見られます。矯正治療をまだ外見のみの美容整形的な治療と思いつかべる人が大勢いることは誠に残念です。

噛み合わせが良くないとその歪みによって体全体のバランスが崩れ、集中力不足やストレスを受け易く慢性の頭痛、肩凝り、腰痛等の不定愁訴(原因不明の体調不良)を引き起こし、一見歯の噛み合わせとは無関係と思われるところに影響を与えてしまいます。

人は誰でも、いつまでも健康で美しくありたいと思っておりますが、加齢とともに顔の艶や筋肉など全身的にも衰えてきます。ところが、良い歯並びで良く噛める人の多くは、いつまでも元気で若々しく、何歳になっても年相応に生き生きとした健康美を保つことが出来るのです。

歯並びで悩んでいる方が、矯正治療をすることで驚くほど口元が美しくなります。外見ばかりかまた機能的にも良く噛めるようになります。口元をしっかりと閉じられるようになり、鼻つまり等の鼻疾患も改善します。健全な歯で食物をしっかりと咀嚼し、飲み込む事は、口腔機能の営みに大切です。良く噛んで食べると、その刺激が脳に伝わり、神経伝達物質の

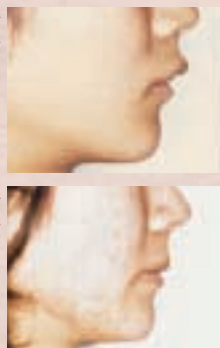
ヒスタミンが脳内で放出され、食

欲の抑制にも働き、過食を防ぎ、メタボリックシンドロームの予防、改善にもなります。また、唾液分泌の亢進をも引き起こし、噛むという適度な刺激を伴って、脳が活性化され多量の情報を伝達し記憶力が向上し、ほけ防止やストレスも減少すると言われております。

最近の若い女性は、すらりと見た目には本当に綺麗になったと言われます。美しい微笑みを作るのには、美人の例え「明眸皓齒」。白い歯、綺麗な歯並びは不可欠の条

件と言えます。件と言えましょう。ちなみに、矯正治療は大人になつてからでも十分可能です。最近では外見からは殆んど目立たない装置も有ります。

高年齢化社会の時代です。長い人生を自分の歯でおいしく、楽しく食べることができて、心豊かに健康な生活をして行きたいいのです。



高橋 征(たかはし すずむ)

プロフィール
東北学院櫛ヶ岡高校を卒業後昭和四十四年愛知学院大学歯学部卒業。同年東北大学歯学部矯正課大学院研究生課程修了。昭和五十年に高橋歯科矯正クリニック開業。日本矯正歯科学会認定医。

まちづくりの歯車

アーバンスコップ倶楽部 代表

鈴木 南枝

昭和56年工学部応用物理学科卒



鈴木 南枝 (すずき なみえ)

プロフィール

昭和56年から平成6年まで東北大学工学部助手、その後フリーで科学館の特別展などの企画に従事。現在は、まちづくりや科学教育の視点からボランティア活動を行っている。まちなか農園を応援する「アーバンスコップ倶楽部」代表。

今年、陸稲を植えてみた。ひと畝ほどの広さだが五升くらいのもち米が収穫できた。ガーデンングにも興味がなかった私が米まで作るようになったわけは、主人の祖父が住んでいた空家の管理を任せられ、広大な荒地をどうしたものか、やむなく友人家族を誘って畑をつくりだしたことがきっかけだった。開墾のときには草刈機やトラクターが魅力的だったのが重労働なのに面白く作業が進んだ。いつも子どもたちが来て賑やかなのもよかった。そして畑の先生である隣のじいちゃんやばあちゃんやの指導の甲斐あって、豆、トマト、馬鈴薯や白菜など沢山の収穫物を得、いつしか自分の価値観までが変化していた。

そんな話を当時仙台市の課長だったHさんにしたら、今の仙台に欠けていることじゃないかということになり、二年後、仙台都市総合研究機構の研究テーマとなった。それからが忙しかった。一年目は市民研究員や職員研究員の方々と公園や未利用地に畑をつくってコミュニケーションをつなげる。まちなか農園を提案し、二年目に仙台駅東口に実験ファームをつくった。そして、三年目の一昨年の六月、花壇 大手町町内会で管理するまちなか農園藤坂が実現した。工学部出身ということもありこれまでロボット工作教室など科学技術関連のボラ

ンティアをしてきたのだが、この三年間はまちなか農園に没頭した。畑での映写会、バジルのバスタランチ、藍の生葉染めなど、町内会の方々と一緒に精力的に遊んで(？)きた。今一番の楽しみは、視覚障がい者の方々と一緒に農作業をすることだ。みなさん明るい方々ばかりで、目が見えないと見えてくる。仙台の様子を伺うのがとても為になるし、心が洗われる時間となっている。

話は戻って、今年収穫した陸稲であるが、収穫のあともち米にするまでたいへん手間がかかった。天日で干したあと足踏み脱穀機で穂から籾を落とす。藁くずと籾の分別には唐箕(とうみ)と呼ばれる手回しの回転翼がついた機械を使った。江戸時代からくり人形に“知覧水車からくり”というのがあるが、これはまさしく農から生まれたロボットの先祖である。環境にもやさしい昔ながらの機械について子どもたちにもどう伝えようか、これから考えてみたい。仙台市科学館で行われているロボコンの立ち上げでは、母校出身のK先生やI先生との出会いがありブームの先駆けだったこともあって、時代の流れをつくるひとつの歯車になれたと思う。まちなか農園ではまちづくりの歯車になれるだろうか、まぢずはおいしいものをみんなで食べて新しい出会いを楽しみたい。



TSUCHITAI CAMPUS

Artist 古山 拓 Taku Furuyama 昭和61年 文学部史学科卒

1962年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、1994年からフリーランスとして仙台で活動。アトリエ名ノランズエンド。洋画家杉浦朝雄氏に師事。

●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)日本水彩画会支部宮城水彩画会会員 ●NHK泉文化センター講師
日仏現代美術博「ARTEC造形美術賞」受賞 郵政公社発行年賀状・秋田県・福島県絵柄採用等東北、東京等各地ギャラリーにて個展開催。

東北の海を守る。



第二管区海上保安本部 警備救難部長

時枝 俊次郎

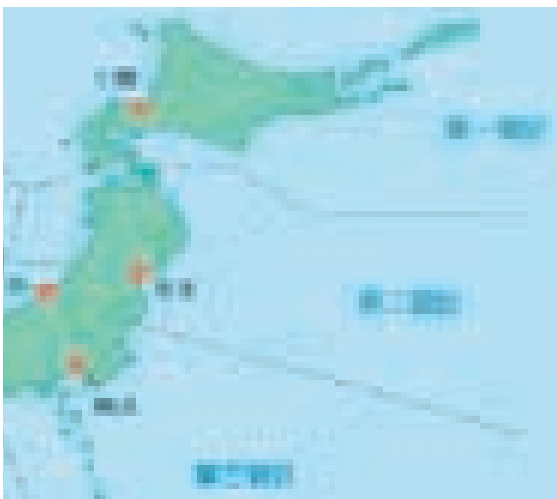
昭和46年高校卒 中・高

第二管区海上保安本部の担任水域

海上保安庁は、昭和二十三年に「海上における治安の維持」「船舶航行の安全確保」を二元的に所掌する組織として、旧運輸省に設置されました。現在では、約二万二千の海上保安官、約四七〇隻の巡視船艇、約七〇機の航空機を擁し、日本周辺海域を守っております。

全国を十二の管区に分割し、私が所属する第二管区は、本部を宮城県塩釜市に置き、宮城はもとより青森、岩手、秋田、山形、福島

の海を担当水域としております。津軽海峡を挟んで、太平洋も日本海も守備範囲となっているのが大きな特徴です。



第二管区海上保安本部の担任水域

警備救難業務について

一言で言えば「海の警察・消防」というところですが、普段皆様の目の届かない海上で仕事しておりますので、イメージが湧かないと思います。そこで、身近に起こった事例を紹介しながらご説明します。

「警備業務」についてですが、海上保安官は特別司法警察員の身分を持っており、警察官と同等の権限がありますが、その業務は広範囲に及びます。日常的にはあわび・さざえ・なまこ等の高級な海の幸を狙った密漁取締りや密航・密輸の水際取締まり、船舶衝突事件などの捜査があります。

一方で、昨年夏、青森県の日本海側深浦漁港近くに、北朝鮮から木造船に乗って不法入国してきた事案や、平成十三年に九州南西沖で銃撃戦となつた北朝鮮工作船事案などの外国からの侵害に対応する領海警備も重要な業務です。

また、管内には原子力発電所を始めとするエネルギー関連の重要施設が多く立地されていますが、これらはテロのターゲットとされることから、これら施設に対する二十四時間体制のテロ警戒も行っています。

次に「救難業務」ですが、宮城県の方には記憶も新しいと思いますが、一昨年十月、台風並みに



1000トン型巡視船



自己救命策確保キャンペーン

「上着脱ぎ止、海を渡る人の命を守る」
「118番」

ヘリコプターによる吊り上げ救助



発達した低気圧により大時化となった女川湾で、さんま漁船が転覆し、乗組員十六名全員が死亡・行方不明となる大海難が発生しました。この時、多数の巡視船艇・航空機・潜水士を出動させ、遭難者の捜索・救助を行うのが大きな仕事の一つです。テレビ・映画「海猿」でモデルとなった特殊救難隊は、そのスペシャリスト部隊です。

東北は好漁場に恵まれ漁業活動が盛んで漁船も多いのですが、それに比例して漁船海難が多いのが特徴です。近年、後継者不足と高齢化が進み、一人乗り漁船の海中転落等の海難が目立ちます。これらの海難が起きないように防止活動するのも重要な業務の一つです。

海難救助や警備のほかに、環境・防災の業務もあります。近い将来、高い確率で起こると言われる三陸沖地震災害対策は当本部の大きな仕事です。



山元町の海岸に座礁したJANE号。17名の乗組員全員を救助

また、宮城県山元町の海岸に昨年四月に乗り揚げた船舶からの流出油の除去や船体の撤去指示など、美しい海岸を取り戻すのも仕事です。

皆様が海を最も身近に感じるのは、海水浴や釣り、ボート遊びなどのマリレジャーではないかと思えます。昨年の夏は暑く、しかも長かったので、多くの方が海辺で楽しめました。しかし、その一方で多くの事故もありました。遊泳中に波にさらわれたり、磯釣りです足を滑らせたり、水上オートバイが海水浴客を怪我させるなど、東北六県で二十五人の方が事故に遭い、そのうち七名の方が死亡・行方不明となっています。海という自然と楽しく付き合うためには、離岸流などの海の仕組みを良く知るとともに、「もしも」の場合に備えて次の三つの自己救命策をとって頂くようお願い致しております。

①救命胴衣の着用
②連絡手段（携帯）の確保

プロフィール

時枝 俊次郎 (ときえだ しゅんじろう) 二等海上保安監

- 昭和52年3月 海上保安大学校卒業
- 平成5年4月 門司海上保安部警備救難課長
- 平成7年4月 第七管区海上保安本部警備救難部警備課長
- 平成9年4月 海上保安庁警備救難部警備第二課補佐官
- 平成11年4月 海上保安庁総務部政務課補佐官
- 平成12年4月 塩釜海上保安部巡視船まつしま航海長
- 平成15年4月 浦河海上保安署巡視船もとら船長
- 平成18年4月 現職

終わりに

③海の緊急電話118番

海で事件・事故に遭ったあるいは見かけた場合は迷わず118番に電話をして下さい。二十四時間の聴取体制で対応しています。最近のGPS機能付き携帯でおかけになると、自動的にあなたの位置を正確に判定し、即救助が可能です。

この他にも海の安全・安心を守るため、多くの業務がありますが、またの機会とさせていただきます。

業務は多方面にわたりますが、「東北の海を安全・安心に、そして美しく守る」のが我々の仕事です。「地の塩」「世の光」に通ずる仕事ではないかと、東北学院卒業生として誇りを持って業務に当たっております。

興味のある方は海上保安庁のホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/> に一度アクセスして頂ければ幸いです。出来れば、多くの後輩が続いてくれるのを期待して止みません。



小泉武夫氏を講師に迎え 文化講演会を開催

東北学院大学文化講演会2007を11月17日(土)午後2時から福島市のコラッセふくしまで開催した。講師は東京農業大学教授の小泉武夫先生で、「発酵の神秘—発酵と人類の知恵」と題する講演に300名近い福島県民が耳を傾けた。東北学院大学では、生涯学習が重要視されている現状を捉え、多様な学習機会を宮城県を除く東北地方の県庁所在地で文化講演会を開催し、今回で5回目を迎えた。小泉先生は、発酵食品の効用についてユーモアを交えながら解説し、また日本の食文化についても言及した。

CAMPUS NEWS さらなる飛躍

バルセロナでのプレーが夢

J1ジェフユナイテッド市原・千葉へ入団
奥山 泰裕(人間科学科4年)



この程、教養学部4年奥山泰裕(やすひろ)君のジェフユナイテッド市原・千葉への入団が決まった。J1の強豪として名高い千葉に入団する奥山君は、スピードを活かした巧みなドリブル突破が武器で、しかも運動量が豊富な

のが魅力。決して大柄な選手ではないが、早い判断の正確なシュートを放つFWとして本学サッカー部を支えてきた。

奥山君は小学校1年生からサッカーを始め、高校時代は地元の塩釜FCでプレーしていた。これまで、全日本クラブユース選手権大会をはじめ、06年には全日本大学選抜のメンバーに入った実力者である。奥山君は「レギュラーにはそう簡単になれるかもしれませんが、熾烈な競争を勝ち抜き1試合でも多くピッチに立ちたい。そして攻撃的な選手を目指して、プロとして数字を残したい」と話す。また、日本代表に選ばれたいと抱負を述べる奥山君は、スペインのバルセロナでプレーするのが夢とも語る。ガンバレ奥山!



駆け引きが魅力

フェンシング世界大会出場
鈴木 誠史(高校3年)



お姉さんがフェンシングを始めたのがきっかけで、鈴木誠史(まさふみ)君は小学校4年生から剣を持った。高校にフェンシング部がないために、現在は仙台フェンシングクラブに所属している。

特に、去年は2月に開催されたジュニア・ワールドカップスイス大会を皮切りに、4月の2007年世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会(トルコ開催)と7月はカザフスタンで開催されたアジアジュニア・カデ・フェンシング選手権大会にいずれも日本代表として出場。フェンシングにはサーブル・エペ・フルレの三種があるが、鈴木君はエペの種目に出場し、アジアジュニア・カデ・フェンシング選手権大会でのエペ団体銅メダルの原動力となった。鈴木君は「2012年のロンドンオリンピック出場が目標です。フェンシングは、剣さばきや相手の心を読んで戦う駆け引きが魅力」と語る。今後の鈴木君の活躍に注目したい。



ご案内

東京支部設立100周年記念祝賀会

1908（明治41）年3月に東北学院同窓会の最初の支部として設立された東京支部は、2008年3月に設立100周年を迎えます。この度、東京支部設立100周年記念祝賀会実行委員会が組織され、次の記念事業を実施することになりました。東京をはじめ関東圏に在住する同窓生が一堂に会し、母校東北学院の発展を願いながら、同窓生相互の交流を一層広めていただきたいと願っています。万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようご案内いたし

日 時／2008年3月22日(土) 16:00～20:00

会 場／ハイアット リージェンシー東京（※東京都庁斜め向い）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿2丁目7-2 TEL.03-3349-0111

第一部 会場／ハイアット リージェンシー東京B1F「白鳳」

記念式典(16:00～16:30)

記念講演会(16:30～17:30)

講 師 MANGA ARTIST

荒木 飛呂彦 氏(昭53榴卒)

演 題『冒険心のすすめ』

定 員／先着200名 ※参加無料



第二部 会場／ハイアット リージェンシー東京B1F「桃山」

記念祝賀会(18:00～20:00)

会 費／10,000円(※当日、受付にてお支払い下さい)

内 容 **さとう宗幸ミニコンサート**

東北学院大学グリークラブOB合唱団による合唱 他

定 員／先着300名



申込方法／住所・氏名・連絡先の電話番号をご記入の上、
はがき・ファックス・Eメールのいずれかでお申込み下さい。

※第一部のみのご参加でも事前申込みが必要です。人数を明記の上お申し込み下さい。

申込期間／2008年1月15日(火)～2月15日(金)

申 込 先／東北学院庶務部校友課

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL 022-264-6468 FAX 022-214-0404

E-mail :dousou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

主 催／東北学院同窓会東京支部設立100周年記念実行委員会

委員長 紺野 稔(東京支部長)



泉支部長
小原 優

昭和39年文経学部経済学科卒 中高・大

泉キャンパスが完成した一九七八（昭和六十二年）四月に地域社会と母校との仲立ちを願って設立されたのが泉支部。その泉支部は、泉キャンパスと深い絆で結ばれた活動を展開している。第二代支部長の小原優さんは「一、二年生の教養部が泉キャンパスに移転し、また泉支部を設立した翌年には教養学部が開学しました。ところが、キャンパス周辺の地元住民と新しく住人となった学生との不協和音もあって、支部設立当初は泉キャンパスと地域社会を結びつける活動が求められました」と苦笑する。

そこで、小原さんは、地域社会への貢献を泉キャンパスの最も誇れる礼拝堂とパイプオルガンに触れていたことが最良と考え、泉区内の中学校吹奏楽部とパイプオルガンのジョイントコンサートを企画した。これが「パイプオルガン&中学校吹奏楽部ジョイントXmasコンサート」として十八年間も続き、この間、故伊澤長俊先生をはじめとする本学オルガニストと六〇〇名を超える中学生とのコラボが八、〇〇〇名の地域住民を魅了してきた。「同窓会って母校の応援団でしょ。支部の活動がそれぞれの地域社会と母校を繋ぐものであっても良いと思う。そういう意味では、ジョイントコンサートは成功したと思いますね」と小原さんは微笑む。今後、夫婦での参加や家族連れのアットホームな同窓会を目指したいと話す小原さんは、ジョイントコンサート

の次なる計画を練っている。



仙台市役所TG会長
鳴海 渉

昭和48年経済学部経済学科卒

七〇〇名の会員数を擁する仙台市役所TG会長の鳴海渉さんは、仙台市太白区長。鳴海さんは昭和四十八年四月に当時の泉市役所に入所し、その後昭和六十三年の仙台市との合併で仙台市職員になった。合併後は秘書課長、生涯学習部長、泉区副区長、健康福祉局次長などの要職を歴任した鳴海さんは「仙台市役所TG会の会員は、仙台市の中枢を担う人から若い人まで皆市民の目線に立って頑張っています。会員数が多いだけに全員が揃うことはありませんが、楽しくて面白いTG会にしていきたいと思っています。そして、TG会活動のなかで情報交換を行いながら会員同士の連携を強め、それを仕事に反映して行きたい」と語る。仙台市役所TG会は、毎年八月

後半に総会を開いている。総会には一〇〇名を超える会員が一堂に会し、そして忙しい公務を調整して仙台市長が祝辞を述べている。市長はその中で、仙台市役所TG会の会員は3L精神を業務に活かしていると讃美しているが、これは会員に対する期待の表れでもある。「自分で考えたことが形になつたときは、遣り甲斐を感じますね。これからも区民が安全で安心して暮らせる行政の推進のため尽したい」と話す鳴海さんは「勉強だけでなくいろんな経験が大切」と後輩への助言も忘れない。また、会員数が減っていることに不安を感じており、もっと多く学生を送り込んでほしいと、母校に要望している。

全国に活動の場を広げる

TG ネットワーク

福島県同窓会

～六支部の結束を確認



東北学院大学文化講演会 2007が福島市で開催されたに合わせ、東北学院福島県同窓会が去る十一月十七日(土)午後六時からホテル福島グリーンパレスで盛大に開催された。当日は福島県北支部をはじめ、郡山支部、相馬支部、南相馬支部、いわき支部、会津若松支部から一〇〇名を超える同窓生が出席し、旧交を温めた。

会は平河内健治人事担当常任理事の開会祈禱から始まり、実行委員長の山田常雄氏が「これまで念願だった福島県合同の同窓会が開催できて感無量です。福島県においても卒業後二十年から三十年過ぎた同窓生は、各職場でそれぞれ重要なポストに就いています。また、母校には将来を見据えて医学部の設置を検討していただきたい。寄付は惜しまない」と挨拶すると、会場は歓声に包まれた。

懇親会では、長らく原町支部長(現南相馬支部)として尽力された志賀虎彦氏に星宮望同窓会長から感謝状と記念品が贈呈され、参加者から惜しみない拍手が送られた。その後、平成十九年四月一日に福島市が市制一〇〇周年を迎えたのを祝い、福島市役所に勤務する有志がステージに登場すると会場は大いに盛り上がりを見せた。特に、馬場敏郎氏のマイクさばきが舌好調で、しばしステージに釘付けとなる者も多く、楽しいひと時を過ごしていた。

めざせ気仙の人づくり

～気仙支部で開放講座開催

気仙支部(及川純支部長)では、昨年に続き「気仙地区開放講座 2007」を開催した。地域を涵養させるのが狙いで、テーマも「めざせ気仙(おらほ)の人づくり」とユニークとあって、近隣の市と町からも多くの受講者が集まった。



同窓会支部が主催して行う開放講座は、本学教養学部地域構想学科が新設された二〇〇五年からスタートしているが、気仙支部が主催したのは今回で二回目。及川支部長は「学校や地域の先駆的な実践事例を聞いて、地域社会の皆さんと知恵を出し合って気仙地区を活性化していきたい」と開講式で述べ、また星宮大学長・同窓会長は「同窓生が地域のために頑張っているのだから、大学としても積極的に支援していきたい」

と協力を約束した。気仙地区開放講座は、九月二十五日(土)、九月二十九日(土)、十月六日(土)の三回に分けて実施され、「地域社会と環境教育」「地域資源の活用と学校教育」「地域の教育力」のテーマとともに本学教養学部の教員が教育の重要性を教授した。また、講座では地元小学校(大学・高校・中学校)や地域が実践的に取り組んでいる事例が紹介され、受講者は熱心にメモを取りながら意見交換していた。また、気仙支部は、新しい時代の地域の在り方と生き方を探るため地元紙の協力を得て連載を企画した。この四〇回に及ぶ連載は、気仙(おらほ)の人づくりを目指す気仙支部の意気込みが感じられ、気仙地区の住民から好評を博している。

中野正志氏が 経済産業副大臣に就任



中野正志氏(昭四十五法法卒)が昨年八月の安倍改造内閣に続いて福田内閣においても経済産業副大臣に就任した。昭和二十四年に新制大学に移行してからの大臣就任は、本学院同窓生では元理事長の鈴木義男(法務大臣)に次いで二人目。「経済産業行政の実施状況を常に把握し、幅広い視点で国政に邁進したい」と話す中野氏。今後の活躍が期待される。

東北学院大学

土樋キャンパス
 大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科
 法務研究科
 学 部：文学部・経済学部・法学部（各3・4年）
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス
 大学院：工学研究科
 学 部：工学部
 〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス
 大学院：人間情報学研究科
 学 部：文学部・経済学部・法学部（各1・2年）
 教養学部
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

3L通信編集委員会

委員長	学院長・同窓会長	星 宮 望
副委員長	庶務部長	高 橋 清 昭
委 員	経済学部教授	保 坂 和 男
	教養学部教授	戸 田 征 男
	中学・高等学校事務長	佐 藤 順 明
	榴ヶ岡高等学校事務長	佐 藤 範 明
	庶務部次長兼庶務課長	日 野 哲 彦
	庶務部校友課長	今 野 靖 晴
	庶務部校友課長補佐	海老田 保 夫
	〃	小 原 武 久

… 編 集 後 記 …

1903（明治36）年11月に24名の同窓生により結成された東北学院同窓会は、今年で設立105周年を迎えます。現在、東北学院同窓会にはニューヨークにある北米支部を含め全国に83の支部があり、また職域の同窓会として115のTG会が組織されています。そのうち東京支部は、東北学院同窓会の最初の支部として1908（明治41）年3月に設立され、今春でちょうど100周年を迎えます。

そこで東京支部では、昨年4月に東京支部設立100周年記念祝賀会実行委員会を立ち上げ、ほぼ毎月のように実行委員会を開催して準備を進めて参りました。そして、ようやく19頁の通りご案内するまでに至り、実行委員会では多くの同窓生と一緒にお祝いしたいと出席を呼びかけています。東京都内に在住する同窓生はもちろん、趣旨に賛同される多くの同窓生が東京支部の設立100周年を祝い、都心で東北学院校歌を声高らかに斉唱していただきたいと思います。

I N F O R M A T I O N

■ 支 部

仙台同窓会総会	日時：2月6日（水）18:30～	会場：ホテル仙台プラザ	連絡先：事務局	022-782-1026
札幌支部総会	日時：2月15日（金）18:30～	会場：札幌ロイヤルホテル	連絡先：齋藤	090-3893-4648
岩切支部総会	日時：2月17日（日）15:00～	会場：岩切市民センター	連絡先：釣舟	022-255-8830（自宅）
泉支部総会並びに泉TG新春の集い	日時：2月22日（金）19:00～	会場：ロイヤルパークホテル	連絡先：大友	022-773-6373（職場）
武蔵野支部総会	日時：2月23日（土）18:00～	会場：所沢パークホテル	連絡先：村木	049-232-9551（自宅）
東京支部設立100周年記念祝賀会	日時：3月22日（土）16:00～	会場：ハイアットリージェンシー東京	連絡先：校友課	022-264-6468

■ TG会

仙台青年会議所中高TG会総会	日時：1月21日（月）18:00～	会場：〇△□	連絡先：三好	022-261-2361（職場）
TG三師会総会	日時：2月16日（土）17:30～	会場：仙台ホテル	連絡先：高橋	022-227-4884（職場）

■ 歌舞伎観劇会

日時：2月22日（金）16:30～	歌舞伎座（東京・銀座）	連絡先：校友課	022-264-6468
-------------------	-------------	---------	--------------

■ 会 議

会長・副会長会議	日時：3月26日（水）15:00～	会場：土樋キャンパス1号館6階「会議室」
	4月16日（水）15:00～	同 上
常置委員会	日時：4月22日（火）11:00～	会場：仙台国際ホテル
同窓会総会	日時：5月15日（木）13:00～	会場：仙台国際ホテル

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様のご個人情報をあらかじめお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

- ◆ 東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。
- ◇ 「東北学院時報」並びに「3L通信-Lux Mundi」の発行・送付
- ◇ 「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇ ホームカミングデー「懐かしい出会いの夕べ」参加費徴収に関わる事務
- ◇ 各支部・TG会が主催する総会及び行事の案内
- ◇ その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいませようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は、上記の通り慎重に取り扱い、利用目的以外には使用いたしません。特に、「東北学院時報」と「3L通信-Lux Mundi」は、皆様と母校を結びつける手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。